

平成20年7月23日
原子力安全対策課
(20-24)
<16時記者発表>

敦賀発電所2号機の定期検査の状況について (タービン動補助給水ポンプ起動入口弁の動作不良)

このことについて、日本原子力発電株式会社から下記のとおり連絡を受けた。

記

敦賀発電所2号機(加圧水型軽水炉；定格電気出力116.0万kW)は、平成19年8月26日から第16回定期検査中で、原子炉起動に向けて準備中のところ、平成20年7月21日19時12分にタービン動補助給水ポンプ^{*1}の試運転のため、タービン動補助給水ポンプ起動用の蒸気入口弁(電動)^{*2}AおよびBを「閉」から「開」にしたところ、中央制御室に「タービン動補助給水ポンプ直流電動弁過負荷」警報が発報した。

直ちに状況を確認したところ、入口弁Bは全開であったが、入口弁Aは弁開度が約6%で停止していた。また、蒸気入口弁の駆動用電源盤内の過負荷継電器の一部に焦げ跡が認められた。

このため、入口弁Aの点検を実施したところ、弁を開閉するための電動機に電源を供給している整流子摺動部に溶けて変形した跡が認められた。

タービン動補助給水ポンプ起動入口弁Aの電動機について、原因調査を実施するとともに、当該弁の電動機等を新品に取り替えることとした。

なお、本事象による周辺環境への放射能の影響はなかった。

(※1) 駆動蒸気を主蒸気隔離弁前より取出し、電動補助給水ポンプが何らかの理由で起動不可の状況でも崩壊熱除去に十分な給水を行う。

(※2) タービン動補助給水ポンプ駆動蒸気ラインに電動弁を設置し、蒸気発生器水位異常低信号あるいは常用母線電圧低信号により自動起動する。

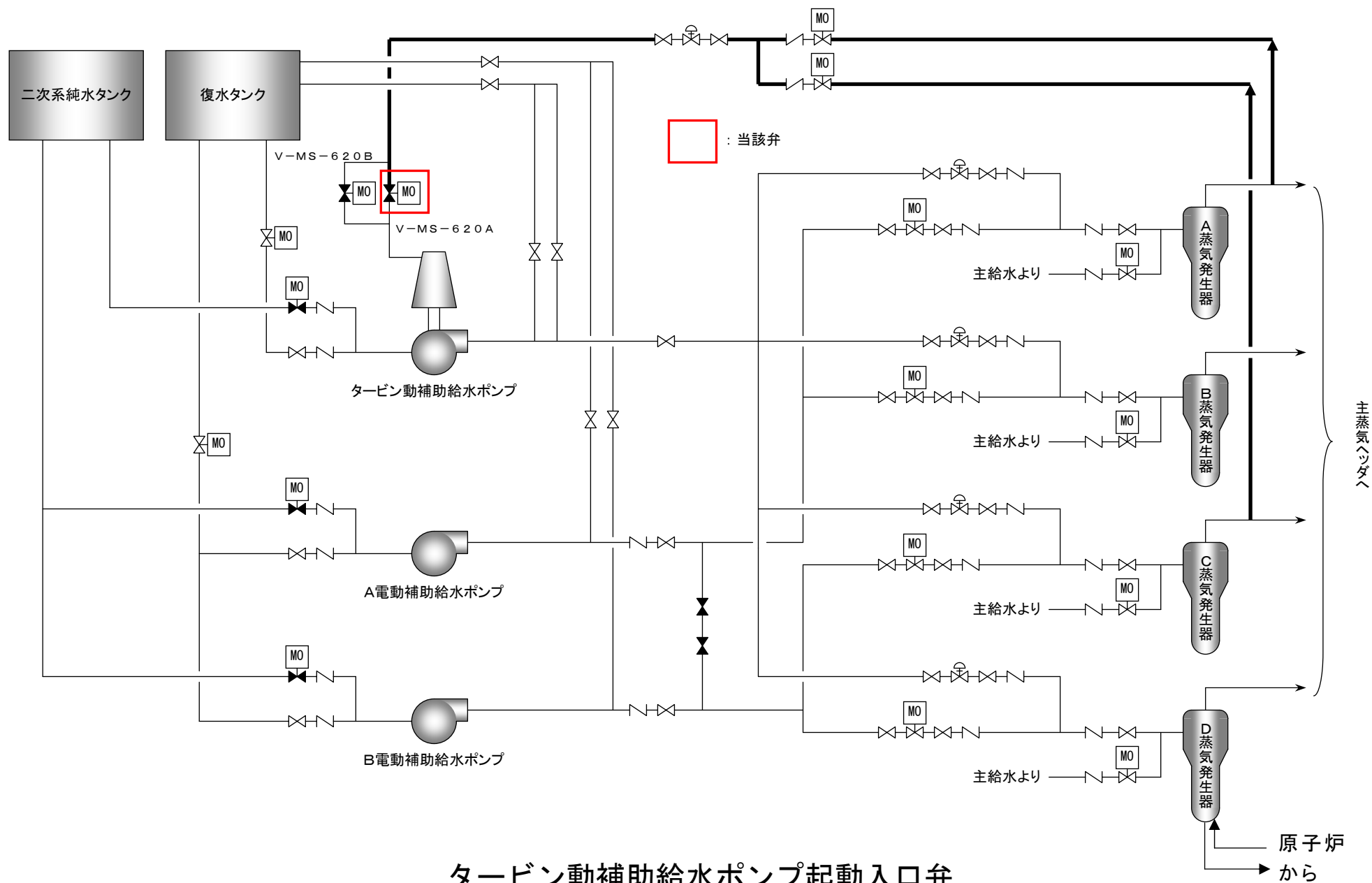
(経済産業省による I N E S の暫定評価尺度)

基準1	基準2	基準3	評価レベル
—	—	0—	0—

I N E S : 国際原子力事象評価尺度

問い合わせ先(担当: 吉田)
内線2354・直通0776(20)0314

補助給水系概略系統図



タービン動補助給水ポンプ起動入口弁
(V-MS-620A) 弁構造図

[駆動用電動機に電源供給する盤内にある継電器]



[起動入口弁駆動用電動機]

